留学生在学生用

令和5年度前期分授業料徴収猶予申請要領

1 免除対象者

- 経済的理由により納入期限までに授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- その他やむを得ない事情があると認められる者

※ 徴収を猶予する期限は、**前期については令和5年9月1日限り**です。

2 申請書類

（1）**授業料徴収猶予願**（別紙様式第２） ・・・３～４頁
（2）**授業料免除・徴収猶予申請提出書類一覧表**（別紙様式２） ・・・５頁
（3）**私費外国人留学生の授業料免除等に関する調書** ・・・７頁
（4）**本人等の収入状況申立書** ・・・９～１０頁
（5）（2）で該当する証明書類、その他本学が必要と認めて提出を求める証明書等

3 受付期間等

受 付 期 間 ： 令和5年3月27日(月) 9:00～12:20、13:30～16:20
令和5年3月28日(火) 9:00～12:20、13:30～16:20
令和5年3月29日(水) 9:00～12:20、13:30～16:20

※事情により上記期間に申請ができない場合は、**必ず事前**に学生・留学生課に連絡の上、申請書類を提出してください。**受付期間・受付時間を過ぎての提出はいかなる理由があっても受付けません。**

※**社会人の学生には「事前予約制」で 17:30～19:00 も受付します。**

受 付 期 間 ： **共通講義棟 S棟１階「会議室2」**

注意事項

（1）**郵送による申請は受け付けません**ので、必ず申請者本人が受付期間中に受付会場で直接申請してください。
（2）徴収猶予を申請した者は、選考結果が発表されるまでの間は、授業料の徴収が猶予されます。
（3）選考結果については、ライブキャンパスでお知らせします。
（4）選考結果が不許可となった者は、所定の授業料を所定の期限内に納入してください。
（5）**申請書類に不備があると選考対象から除外されます**ので、本要領等を熟読の上、申請書類に不備がないよう注意してください。「授業料徴収猶予願」は**令和５年４月１日現在の内容で**記入してください。
（6）**月額１０万円（半期６０万円）以上の給付奨学金を受給する場合は猶予対象者になりません。**
（7）選考を適切に行うため、その事情を証明する書類が必要です。なお、提出いただいた個人情報は、授業料徴収猶予選考以外の目的には使用されません。

＜参考＞　授業料免除の選考基準

下記の「**１．収入基準**」及び「**２．学力基準**」の<u>両方</u>を満たしていることが必要です。

１．収入基準（おおよその目安です。免除予算枠を基準該当者が上回ると基準内でも免除にならない場合があります。）

世帯の特別の事情により異なるが、**世帯の年間総所得金額（世帯全員の合計）**が次の収入基準額**以下**であること。

区分 / 世帯人員	学類生		大学院生（修士・博士前期）		大学院生（博士後期）	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
１人	１９５万円	２３９万円	２１０万円	２５４万円	２８２万円	３２６万円
２人	２９４万円	３３８万円	３１８万円	３６２万円	４３２万円	４７６万円
３人	３３４万円	３７８万円	３６２万円	４０６万円	４９５万円	５３９万円
４人	３６２万円	４０６万円	３９２万円	４３６万円	５３５万円	５７９万円
５人	３８８万円	４３２万円	４２１万円	４６５万円	５７６万円	６２０万円
６人	４０６万円	４５０万円	４４０万円	４８４万円	６０２万円	６４６万円

＊　総所得金額＝総収入金額－①必要経費－②特別控除額（世帯の特別の事情）

①必要経費

○給与収入者（年金受給者も含む。給与収入者が２人以上いる場合は各人別に行う。給与収入は所得税等控除前の額）

・収入金額１０４万円以下　⇒　収入金額と同じ
・収入金額１０５万円～２００万円の場合　⇒　収入金額×０．２＋８３万円
・収入金額２０１万円～６５３万円の場合　⇒　収入金額×０．３＋６２万円
・収入金額６５４万円以上の場合　⇒　２５８万円

○給与収入以外の者（商業、農業、その他の職業及び臨時的所得等）
その収入を得るために費やした経費（税申告書の必要経費）

②特別控除額（世帯の特別の事情）
就学者、障害者、長期療養者等がいる場合、母（父）子家庭に該当する場合等に控除されます。
就学者＝小学：8、中学：16、高校：28～60、高専：36～80、専修 17～112、大学：59～144
心身障がい者＝99、母（父）子家庭＝99　　単位：万円

２．学力基準

（１）学類学生

①１年次生
入学試験の合格者。

②２年次生以上
基準日現在の<u>修得単位数が下表の**修業年次の標準修得単位数以上**</u>であり、**<u>かつ</u>**、<u>当該修得科目数の**７０％（夜間主コースは６０％）以上が「Ｂ」以上**の成績であること。

③編入学及び学士入学した者については、上記①を準用する。

（２）大学院生

①１年次生
入学試験の合格者。

②２年次生
申請時の<u>修得単位数が下表の修業年次の**標準修得単位数以上**</u>であり、**<u>かつ</u>**、<u>当該修得科目数の**７０％以上が「Ｂ」以上**の成績であること。

＊　母子家庭、生活保護世帯等については、「学力基準」が<u>若干</u>、緩和される場合もあります。**（標準修得単位数を除く）**。

＜修業年次の標準修得単位数（累計）＞※昨年度の例のため変更となる場合があります。

学年 / 学類等	２年次生（１年次修得単位）	３年次生（１～２年次修得単位）	４年次生（１～３年次修得単位）
人間発達・行政政策・経済経営・共生システム理工・食農・夜間主	３１	６２	９３
大　学　院（修士課程・博士前期課程）	１６		
大　学　院（人間発達文化研究科・教職実践研究科）	２４		
大　学　院（博士後期課程）	６	１０	

留学生用

別紙様式第２

授 業 料 徴 収 猶 予 願

福 島 大 学 長　 殿

学類・大学院（　　）
入 学 年 度 （　　年度 ）
学 籍 番 号 （　　）

フリガナ

申請者（自筆）　氏　名

現住所

携帯番号

令和５年度前期分授業料を期日までに納入することが困難なため、徴収の猶予を許可してくださるようお願いします。

記

１．猶　予　期　限　　令和５年９月１日（金）

２．納入が困難な理由　　（詳細に申請者本人が記入すること）

３．家族状況

	続柄	氏　名	年齢	現在の職業（勤務先）	給与収入の計	給与収入以外の計
就学者を除く家族	本人			学生（福島大学）		

部分は大学記入欄なので、記入しないこと。

	続柄	氏名	設置区分	在学学校（学年）	通学区分	前年度状況（国立学校就学者のみ記入） 授業料免除状況 前期分	後期分	授業料年額（千円）
就学者			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）	※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）	※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）	※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）	※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）	※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除	

特別控除	母子父子世帯	※ 母無： 死亡・生別（ 年 月） 父無： 死亡・生別（ 年 月）	0:非該当( ) 1:該当
	障がい者のいる世帯	続柄（ ） ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者（障害あり） 続柄（ ） ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者（障害あり）	人
	長期療養者のいる世帯	続柄（ ） 1か月当たり療養費 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養 続柄（ ） 1か月当たり療養費 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養	合計（年額） （千円）
	主たる家計支持者の別居	1か月当たり住居・光熱費等 千円	
	災害・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	災害内容 / 被災額 千円	

大学認定	家族数	人	居住地	A:A級地 ~~B:B級地~~	通学区分	1:自宅 2:自宅外
	独立生計者	1:該当	生活保護世帯	1:該当	学力	0:不適格
	申請区分	1:一般 2:家計 3:学力 4:事由 5:事情（家計支持者死亡） 6:事情（災害） 7:事情（その他）			辞退	□（1:有り）

記入上の注意

1．[　　]の欄は大学記入欄なので、記入しないこと。
2．※印は、該当箇所を〇で囲むこと。
3．記入内容は、**令和５年４月１日現在**で記入すること。
4．現住所は**実際に住んでいる住所**を記入すること。
5．家族の職業は具体的に記入すること。専業主婦、無職等の場合であっても空欄とせず、その旨記入すること。

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

全員提出

別紙様式 2

令和５年度【授業料】免除・徴収猶予申請提出書類一覧表（留学生用）

学籍番号	
氏　　名	

No.	提　出　書　類	備　　考	発行所等	該当欄に○印付す	
				本人	他（　　）
1	免除願（又は徴収猶予願）	本学所定の様式 （別紙様式第１又は第２）		○	
2	提出書類一覧用(留学生用)	本学所定の様式 （別紙様式第２・この表）		○	
3	私費外国留学生の授業料免除等に関する調書	本学所定の様式		○	
4	本人等の収入状況申立書	本学所定の様式 (配偶者が同居している場合は必ず裏面・配偶者分も記入すること)		○	
5	令和３年分所得課税証明書 ・課税証明書	令和４年１月現在に日本にいた場合（配偶者も含む）	市区町村役所	○	
	【重要】 **＊所得課税証明書の名称は自治体によって名称が変わります。** **＊課税額の内訳（所得割額、均等割額）配偶者控除、扶養控除人員数等の記載があるものを取得すること。**				
6	令和４年分の源泉徴収票 又は最近の給与明細のコピー	アルバイト従事者は必ず提出すること（配偶者も含む）	勤務先		
7	アパートの契約書のコピー※	学生寮・国際交流会館に居住している者は除く	当該者保管分	○	
8	最新の光熱・水道料請求書 又は領収書のコピー※	全員提出	当該者保管分	○	
9	最新の電話料請求書 又は領収書のコピー※	全員提出	当該者保管分	○	

注意事項

（１）各種証明書類は申請日の３か月以内の証明のものに限る。

（２）７※アパートの契約書は、アパートの名称、住所、居住者の氏名、家賃が確認できる部分をコピーして提出すること。

（３）８※、９※の請求書や領収書は、書類をならべてＡ４判１枚にコピーしたものを提出すること。

記入いただいた個人情報は、免除選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

全員提出

私費外国人留学生の授業料免除等に関する調書

学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本人の家計及び生計（基準日の前月の状況を記入すること）

収　入（月額）		支　出（月額）	
仕送り	円	住居費	円
親戚等の補助	円	食費	円
奨学金	円	医療費	円
アルバイト	円	交通費	円
	円	光熱水道	円
	円	通信電話	円
	円	国民健康保険料	円
	円	その他	円
計	円	計	円

（現況の概要）

＊申請基準日：令和５年４月１日

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

本人等の収入状況申立書（大学院留学生用）

福　島　大　学　長　　殿

学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび，福島大学の入学料免除等の出願にあたり、本人の収入状況は下記のとおり相違ないことを申し立てます。

１．前年（**令和４年１月～１２月**）にアルバイト等していた場合に１年間の総収入額を記入すること

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
計			

２．本年（**令和５年１月～１２月**）にアルバイトをしている場合又はアルバイトを予定している場合に、１年間の総収入金額を推算して記入すること。

勤務先名	仕事内容	総受給金額（円）	受給期間
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
計			

３．**令和５年度**の仕送りについて（**必ず記入すること**）

続柄＿＿から年額＿＿＿＿＿＿円（予定額を含む）

注　意　事　項　等

① 本人等が期間中に行ったアルバイト、定職などによる全ての収入（奨学金は含まない）について記入してください。
② 仕事内容は、家庭教師、調理補助、ウェイターなど具体的に記入してください。
③ 源泉徴収票、給与明細書、支払調書等が発行されている場合は必ず提出してください。

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

配偶者の収入状況

※配偶者がいる私費外国人留学生は、配偶者の収入状況を下記に記入してください。

このたび，福島大学の入学料免除等の出願にあたり、配偶者の収入状況は下記のとおり相違ないことを申し立てます。

１．前年（**令和４年１月～１２月**）にアルバイト等していた場合に１年間の総収入額を記入すること

勤 務 先 名	仕 事 内 容	総受給金額（円）	受 給 期 間
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
計			

２．本年（**令和５年１月～１２月**）にアルバイトをしている場合又はアルバイトを予定している場合、１年間の総収入金額を推算して記入すること。

勤 務 先 名	仕 事 内 容	総受給金額（円）	受 給 期 間
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
計			

３．**令和５年度**の仕送りについて（**必ず記入すること**）

続柄＿＿から年額＿＿＿＿＿＿円（予定額を含む）

注　意　事　項　等

① 本人等が期間中に行ったアルバイト、定職などによる全ての収入（奨学金は含まない）について記入してください。
② 仕事内容は、家庭教師、調理補助、ウェイターなど具体的に記入してください。
③ 源泉徴収票、給与明細書、支払調書等が発行されている場合は必ず提出してください。

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。